

移住の地でつかんだ正規採用

就労支援でスキル棚卸し、就活でのアピールに

金澤さん

講座名 キャリアスタート講座

家族構成 夫、子ども1人(1歳)

職歴 县外での大学職員の仕事を退職し、結婚を機に群馬県へ移住。これまでに大学のほか、企業や団体など、計5カ所で正規や非正規で勤務。キャリアスタート講座での学びを生かし、4月から県内の市役所で、正規職員として勤務予定。



——キャリアスタート講座を受講しようと思ったきっかけを教えてください。

約3年前、結婚を機に、県外から夫が住む群馬県へ引っ越しました。それ以降、パートで働いていましたが、正規での採用を目指していました。

移住前に、大学で事務職員とし

たが、

これまで、事務職を経験してき

// 記事のポイント //

- 結婚を機に、夫の住む群馬県へ移住。正規就労を目指し、講座受講を決意
- 就労支援の個別相談でスキルを棚卸し、正規の市役所職員として内定を獲得
- 新たな環境で、市民のデジタルスキル習得や女性の就労支援に意気込み

ましたが、「もっと早く知つていれば」というツールやスキルをたくさん学ぶことができました。

例えば、デザインツールのCanva。チラシやインスタグラム投稿に使うためのデザインは、専門的にデザインの知識を習得した人が制作しているというイメージがありました。しかし、Canvaを使えば、経験のない自分でも、想像以上にきれいなデザインを作ることができることが分かりました。

また、受講生同士がインタビューし合つて記事を作成する授業で、録音した内容を文字起こししてくれる「Aーツール」を知りました。前職の大学での仕事でも、議事録を作成することはありました。「Aー」を活用していればもっと早くできたのに」と思いました。

初級者向けの講座で、私が知っていることが多いと思っていましたが、「まだまだ知らないことはたくさんある」とことに気がつきました。新しいスキルを習得できて良かったです。

——小さいお子さんもいる中での学習は大変だったと思います。

また、受講した感想を教えてください。

講座では、自宅で取り組む「課題」もありました。子どもが寝た

重な機会でした。群馬に引っ越してきてから、少し孤独を感じていました。子どもを連れて子育て支援センターに行つても、周りのお母さんたちは自分よりずっと若く、また、他の受講生と出会えた貴重な機会でした。群馬に引っ越してきました。子どもを連れて子育て支援センターに行つても、周りのお母さんたちは自分よりずっと若く、践に役立つ、愛のある講座でした。

また、相談を通じてこれまでの経験を棚卸したことで自分にできることが明確になり、就職活動でのアピールにつながりました。

これまで、パートやアルバイトとして働いた期間も長かったので、自分に自信がなく、「スキルはありません、でもやる気はありません



受講を修了した有志のメンバーとデジタルスキルを学びあう団体を設立したいと、意欲を語る金澤さん

後の午後9時頃から、子どもを起こさないよう、パソコンの音に気をつけながら課題に取り組みました。

——市役所への就職が決まったと
のことですが、就職活動について、
気をつけたポイントはありますか？

て、「ママ友」がなかなかできず、「地元に帰りたいな」と思うこともありました。講座に参加し、お互いに質問しながら新しいスキルを学び合う仲間が群馬でできたことで、「自分は群馬県民だ」とようやく感じることができるようになりました。

「す」といったアピールしかできませんでした。職務経歴書には、やつてきたことをただ羅列していくまし

いていなかつたところを「外部業者とのスケジュール調整力」「マーケティング能力」として、具体的にアピールできるようになります。

リジを作成し、SNSアカウントも開設して、講座受講生以外にも学びの輪を広げていきたいと考えています。

金澤さんが講座で学んだCanvaを使って制作した自己紹介

IT人材育成×女性就労支援 MAITSURUプロジェクト 2024

キャリアスタート 講座

WordやExcel、デザインツール「Canva（キャンバ）」、「インスタグラム」など就労に役立つ様々な基本的なデジタルスキルを習得する講座。受講生49名が2024年9月～12月の計12日間（36時間）、対面講座で学習した。

また、講座で出会った仲間と一緒に、意団体を立ち上げる予定です。仕事に役立つスキルについて最新の情報を交換したり、悩みを相談したりするものです。いずれ講師の先生を招いて勉強会も開催する予定です。

今後、講座で身につけたスキルを生かしてホームペ

デジタルの知識やスキルだけでなく、前向きな考え方を身につけることができたことを感謝しています。

配属先はまだわかりませんが、自分がデジタルスキルを学んで世界が広がったことから、デジタル人材の育成や、自分と同じように就労を目指す女性の支援をする仕事をしたいと思っています。

つていました。自分が責任を持つて誰かに仕事を任せたり、内容を確認して最終判断をしたりする経験はありませんでした。でも今は、自分が中心となつて組織を立ち上げよう、といつ気持ちにな

——講座を終えて、これから仕事への思いや、挑戦してみたいことを教えてください。

今まで経験してきた仕事では、チームで仕事をすることが多く、私は「リーダーの指示に従つてきちんと働くのが向いている」と思